

地方都市視察報告書

文化観光産業等特別委員会

1 実施日

令和6年11月12日（火）

2 視察地 高知県南国市

【市の概要】

(1) 面積 125.30km²

(2) 人口・世帯数

(令和6年11月30日現在)

人口 45,977人

世帯数 22,735世帯



(3) 南国市は、高知県の中部に位置し、県庁所在地の高知市の東に隣接する、県下第二の都市である。昭和34年10月1日に、地勢、交通、産業、経済及び社会的関係が密接な隣接5か町村が合併して市制を施行した。

古くは約1300年前に国府が置かれ、土佐の中心地として栄えた。その際に国司として赴任した紀貫之が任を終え、帰京する際の心情を綴った「土佐日記」は文学的香りの高い紀行文として知られている。

平成5年2月には「地方拠点都市地域」の指定を受け、四国横断自動車道南国インターと高知龍馬空港を擁し、高知新港にも近接、高知県の陸、海、空の表玄関として、高知市に次ぐ第二の都市としての機能強化を図っている。

3 視察項目・内容

連続テレビ小説「あんぱん」を活用した観光施策推進事業について

4 視察参加者

【委員】

下村 治生委員長、 井下田 栄 一副委員長、 高 阪 まさし委員、
三 沢 ひで子委員、 山 口 かおる委員、 佐 藤 佳 一委員、
渡 辺 やすし委員、 古畑 まさのり委員、 の づ ケ ン委員

【随員】

議会議務局議事係 波多野 浩二、 鶴城 美里

5 視察結果・所感

南国市で、令和7年春からNHKで放映される連続テレビ小説「あんぱん」を活用した観光施策推進の取組について視察を行った。「あんぱん」は、新宿区の名誉区民であり、南国市の名誉市民でもあるやなせたかし先生と妻の暢さんをモデルに

したドラマである。

南国市は、「あんぱん」の放映を観光振興の好機として観光施策推進事業の基本計画書を作成し、課題の洗い出し、事業を通じて目指す姿、ターゲット層、事業の推進体制を明確にした上で、具体的な取組項目を計画している。その取組はハード、ソフトの両面をバランス良く練られたものであり、事業を通じて目指す姿は、観光振興だけではなく、やなせたかし先生の功績や想いを引き継いでいきたいというものであった。

新宿区においても、観光客の属性、消費傾向、訪問動向等、分析を行い、データに基づいた効率的かつ効果的な観光振興施策を実施することが重要であると認識した。また、一過性で終わるイベントだけではなく、やなせたかし先生の精神や功績を観光を通して知ってもらうような、ストーリー性を持たせた観光についても大変参考になった。さらに、多くの委員から、「あんぱん」放映に向けて、南国市と新宿区で連携した取組の実施に期待するとの感想があった。

6 主な質疑項目

- (1) 観光推進事業における基本計画の重要性について
- (2) 広域連携による事業体制について
- (3) 観光スポット周遊促進について
- (4) 観光客を受入れるための環境整備について
- (5) やなせたかし先生の精神や功績を紹介する事業について
- (6) 連続テレビ小説「あんぱん」放送に向けての新宿区との連携について

7 その他

【共同視察者】

文化観光産業部 新宿観光振興協会担当課長 大山 真帆子

